



同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会
平成30年4月6日発行 第33号
<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>



笠間市国際交流協会との懇談会

3月16日（金）江戸川区総合文化センター会議室にて笠間市国際交流協会との懇談会が開催されました。笠間市からは20名、江戸川区からは同窓会役員など10数名が参加しました。

まず初めに同窓会の前田会長、笠間市国際交流協会の増淵理事、江戸川国際友好会の土谷会長より挨拶がありました。続いて、事務局の森本室長から江戸川総合人生大学の紹介のあと、それぞれの会より活動報告が行われました。



森本室長



左側に江戸川区、中央に前田会長、右側に笠間市の皆さん



EIFA 土谷会長

笠間市国際交流協会（KISA）は1995年に設立され、2009年に一般社団法人となりました。海外からの研修生の受け入れや、地域の歴史・伝統文化の案内、在住外国人の生活支援などを行っています。

今回この懇談会の仲介役となった江戸川国際友好会（EIFA）は、外国人が増加する江戸川区で、多文化共生をめざし、いろいろな形態での国際友好を増進する母体として活動しています。



笠間市国際交流協会・増淵理事のご挨拶（写真左）と木村専務理事による活動報告（写真右）



懇談会終了後は西葛西のホテルレストランに移動し、ランチビュッフェで懇親会となりました。和やかな雰囲気の中で、懇談会の感想やお互いの活動について語り合い、更に交流を深めることができました。

朝から小雨の降る中、短い時間にも関わらず、地域ごとの特色を生かしながらの国際交流に尽力している皆さんの活動に深い意義を感じました。



※懇談会の詳しい内容については、同窓会ホームページをご覧ください。

「同窓会の10年」 第2回

同窓会会長 前田直義

江戸川総合人生大学同窓会は1期・2期卒業生の方々が、大学事務局の協力を得て設立されました。前回（平成19年～平成23年）に引き続き、年表形式で振り返ります。

年	月	同窓会	世の中の出来事
平成24年	4月	人大ボウ連発足	東京スカイツリー開業 金環日食
	5月	文化講演会「江戸時代の画家 伊藤若冲とアメリカ」開催	
	6月	ワールドカフェ「ひろげようつながろう地域活動のわ」開催	
	9月	「おとなの社会見学」（バスツアー）開催（陸上自衛隊・新日本製鐵）	
	10月	同窓会ホームページ開設	
平成25年	3月	「在校生と人大ボウ連の集い」開催	富士山が世界遺産に登録
平成26年	10月	「開学10周年を祝う会」開催	消費税8%に引き上げ
平成27年	6月	同窓会クラブ活動開始	北陸新幹線（東京～金沢間）開業
平成28年		熊本地震ボランティアに寄付 なごみの家・地域支援会議に卒業生が多数参加	熊本地震
平成29年	3月・5月	「同窓会の明日を考える会」開催	将棋の藤井聡太四段（当時）が公式戦29連勝達成
	10月	「同窓会設立10周年を祝う会」開催	

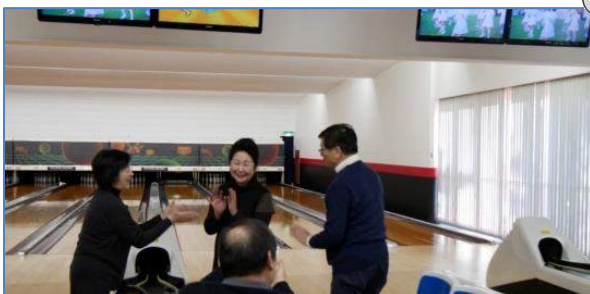
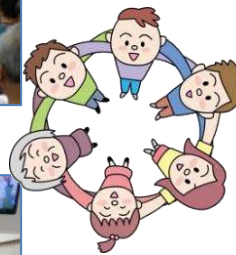
*同種の行事は原則初回のみ記載



ワールドカフェ



「おとなの社会見学」（バスツアー）



同窓会クラブ活動



同窓会設立10周年を祝う会

クラブ活動 紹介

《おためし美術くらぶ（水墨画編）》 《みんなの書道倶楽部》

広報部会では、1月20日（土）と2月3日（土）の2回にわたり「おためし美術くらぶ（水墨画編）」と「みんなの書道倶楽部」（同時開催）取材しました。

「水墨画」作品は、ただ一本の筆で描かれます。初めに「薄い墨（淡墨）」を筆にたっぷり染み込ませ、二番目に筆の片側だけに「濃い墨（濃墨）」を付け、一気に作品を仕上げしていきます。

この技法「附立（つけたて）法」で、先生は時にゆっくり、時に勢い良く、筆を走らせたり、止めたり、巧みな筆さばきで、主役を濃く脇役を薄く、さらに墨の濃淡で遠近を描き分けて見せてくれます。真っ白な紙に現れたのは一株（ひとかぶ）の竹でした。17、18歳でこの道に入門された先生がご高齢になられた今でも教室に立つのは、「生徒から教わる機会が得られるからです」と一言。

「書道」では、元の漢字からひらがなが出来た軌跡から学べます。「毎日練習すると上手になれますが、極めたと言う事の無い奥の深い学びを楽しむ道です」と先生。

「画」と「字」の2つもの表現手段を同時に両方学べる教室で、参加者は親子2代で先生に師事されている方を含め、経験年数は様々です。「作品に向き合っている時間や創作していく過程、先生の指導とお話、書き終わったあとの皆さんとの四方山話などが楽しい」とお話されていました。



「附立法」で描く江連先生

● 水墨画の豆知識：

- 薄い墨（淡墨：たんぼく）＜水に1、2滴の墨を落としたもの＞
- 濃い墨（濃墨：のうぼく）＜水墨画用「青墨（せいぼく）」を硯で磨ったままの濃い墨＞
- 紙 ＜こうぞ、みつまた、竹、麻等、材料さまざま漉紙（すきがみ） 作品により使い分ける＞
- 附立法 ＜筆の仕組みを最大限に活かし、輪郭線を描かずに、面によって形を現していく技法＞



水墨画の道具



作品を制作中の皆さん

《おためし美術くらぶ（水墨画編）》 《みんなの書道倶楽部》 情報

- ＜講師＞ 江連 孝厚（えづれ たかあつ） 元くすのきカルチャーセンター講師
＜見学体験連絡先代表＞ マネージャー 竹原 京美（まち 1）
＜会費＞ 3,000円/月（ビジター1回2,000円）
＜日程＞ 毎月2回 第1・第3土曜日 9時30分～11時30分（開場9時）
＜会場＞ 東部区民会館 ※「翠山会（すいざんかい）」で登録しています。
（都合により変更あり、予定は同窓会ホームページをご覧ください）

江戸川まちづくり学科の授業に参加！

江戸川まちづくり学科（第13期2年生）の授業に同窓会へお誘いがあり、会員11名が参加しました。授業のテーマは「東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア活動の提案づくり」です。

授業の日程は、2月23日～3月23日までの全5回（金曜日午後2時～4時）です。写真は、第1回目（2月23日）と第3回目（3月9日）の授業の様子です。



佐谷和江 学科長

矢郷恵子 講師



授業に参加した同窓会会員の皆さん

授業の内容は、おもてなしやボランティアについての心構え、ユニバーサルなまちづくりの現状と課題についてなど、講師のお話を聞き、グループに分かれて意見交換しました。

今回、在校生の授業に卒業生が参加して、江戸川区民が東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア活動にどのように関わり、盛り上げていけるのかを学べたことは、とても有意義な体験でした。授業の成果が今後どう展開していくのか楽しみです。



在校生と卒業生と一緒に授業に参加



グループに分かれて話し合い

《編集後記》

平昌オリンピック・パラリンピックは日本選手の大活躍に終わり、多くの国際交流の場が見受けられました。4年後の大会を目指して多くの選手や子どもたちに夢と希望を与えたことでしょう。いよいよ2年後は東京での開催が迫ってきました。同窓会でもどう関わっていくのか、江戸川まちづくり学科の授業参加などの動きでも始まっています。いろいろな国際交流・ボランティア活動が予想されます。今後も同窓会だよりに紹介する予定です。お楽しみに！

《第11期 広報部会》

飯田和江（介7）、榎本清一（介9）、大内貞雄（まち12）、
衣川章嗣（まち9）、長谷川孝子（国8）、山内康（子11）

「同窓会だより」は皆さんの会費で作っています。